

平成28年度

奈良教育大学大学院教育学研究科

専門職学位課程(教職大学院)

[学 外 特 別 選 抜]

学 生 募 集 要 項

[1 1 月 募 集]

募集区分	出願期間	試験期日	合格発表
11月募集	平成27年10月23日(金)～ 平成27年10月29日(木)	平成27年11月14日(土)	平成27年11月26日(木)

奈良教育大学

目 次

○入学者受入方針(アドミッション・ポリシー).....	1
教育課程編成実施方針(カリキュラム・ポリシー).....	1
学位授与方針(ディプロマ・ポリシー).....	1
1. 専攻、入学定員及び募集人員.....	2
2. 標準修業年限.....	2
3. 出願資格.....	2
4. 出願手続(出願書類、出願方法、出願書類等に関する注意事項).....	3
5. 受験票等の送付.....	4
6. 選抜方法 ～ 一般選抜/現職教員特別選抜/社会人特別選抜 (学力検査日、学力検査場、学力検査時間割、学力検査の概要).....	4
7. その他の留意事項.....	5
8. 合格者の発表.....	6
9. 入学手続.....	6
10. 入学料及び授業料.....	6
11. 小学校教員免許取得プログラムについて(長期在学コース).....	6
12. 特別支援学校教員免許取得プログラムについて(長期在学コース).....	8
13. 長期履修学生制度について.....	8
14. 修了要件、履修方法等について.....	8
15. 担当教員研究分野一覧表.....	9
16. 個人情報の利用について.....	10
17. 障害を有する入学志願者との事前相談について.....	10
18. 過去の入試問題の閲覧について.....	11
19. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について.....	11

本学教育学研究科では平成 28 年 4 月に大学院改組を予定しています。この計画は文部科学省に申請中であり、内容については変更の可能性があります。内容について変更となる場合は本学ホームページにて公表しますので確認してください。

教育学研究科の特徴

広く教育関係諸科学を研究し、教育実践に関する科学的研究を深めることによって、豊かな人間性と高度な専門的教養を備え、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する高度専門職業人としての教員を養成します。そのことを通して、奈良県および近隣地域における、高度な力量を持った教員の養成において中心的役割を果たしていきます。

【入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

専門職学位課程においては、学士課程や教育現場で培った学力・能力に加え、次の目的を持つ人を求めます。

● 学部・大学院出身者

授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、特別支援教育に関心があり、より実践的な専門性を培い、教職に関する高度な実践力を身につけたいという目的を持つ人

● 現職教員

学級・学校経営や教育行政、授業・学習指導方法開発、生徒指導・教育相談、特別支援教育における様々な課題を解決するために、より高度な実践力を身に付け、学校や地域において指導的役割を果たしたいという目的を持つ人

【教育課程編成実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

専門職学位課程においては、以下の趣旨に基づいて教育課程を体系的に編成し実施します。

1. 共通科目では、学校教育の基本となる課題について理論と実践の往還を通して学び、それに対応できる実践的力を育みます。
2. 実習科目では、学校現場で課題を探究し、その課題を解決できる実践的力を育みます。
3. 演習科目では、実践を対象とする研究や省察のための力を育みます。
4. 研究科目では、理論と実践を架橋させ、自らの課題を解決する研究的力を育みます。
5. 現代的教育課題科目では、喫緊の教育課題や教育の現状を理解し、それに対応できる実践的力を育みます。

課題研究及び学位研究報告書作成では、自ら探究した教育課題を解決するために実践を通して研究する力量と、研究の成果や在学中の学び・身につけた力量を省察してまとめることのできる力量とともに、学び続ける態度を育みます。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

専門職学位課程においては、教育実践に関する研究をもとに、修了までに以下の力量を身に付けることを求めます。これらの力量を獲得するとともに、所定の単位を修得し、学位研究報告書の審査及び最終試験に合格した学生に学位を授与します。

1. 学校教育における諸課題に対し、俯瞰的な視点を持って組織的に解決できる力量
2. 専門的知見と高度な実践的指導力を生かし、新しい学校づくりの有力な一員となり得る力量
3. 学習指導、生徒指導、特別な支援を必要とする子どもに対する指導を一体化させて個に応じた指導ができる力量

平成 28 年 4 月の大学院改組に伴い、入学定員は下表のとおり予定していますが、文部科学省に申請中であり、内容については変更の可能性があります。入学定員が下表から変更となる場合は本学ホームページにて公表しますので確認してください。

1. 専攻、入学定員及び募集人員

専攻	入学定員	募集人員			選 抜 区 分
		9月募集	11月募集	2月募集	
教職開発	25名	・学校組織マネジメントコース ・学習指導コース ・生徒指導コース ・特別支援教育コース			① 一般選抜
					② 現職教員特別選抜
				③ 社会人特別選抜	
				④ 学外特別選抜(推薦入試)	
				⑤ 連携大学特別選抜(推薦入試)	
				⑥ 学内特別選抜(推薦入試)	

※9月募集、11月募集及び2月募集で上記の人員を募集します。

2. 標準修業年限 2年

ただし、教員免許状を有していない入学者及び小学校以外の校種の教員免許状を有し在学中に小学校教諭一種免許状を取得しようとする入学者については、「小学校教員免許取得プログラム」によって、小学校教諭一種免許状を取得した上で、大学院の教育課程を履修することになりますので、標準修業年限は3年以上となります。

また、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有している者のうち特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする入学者については、「特別支援学校教員免許取得プログラム」によって、特別支援学校教諭一種免許状を取得した上で、大学院の教育課程を履修することになりますので、標準修業年限は3年となります。詳細については、6頁の「小学校教員免許取得プログラムについて」または、8頁の「特別支援学校教員免許取得プログラム」を参照の上、出願してください。

なお、疾病等による通学困難者を対象とした「長期履修学生制度」が適用された場合の修業年限は、標準修業年限に2年以内の年数を加えて許可された期間となります。詳細については、8頁の「長期履修学生制度について」を参照してください。

3. 出願資格

学外特別選抜（推薦入試）に出願できる者は、次の要件を満たす者としてします。

- (1) 出願時点において、平成 28 年 3 月に大学卒業見込の者
- (2) 幼稚園、小学校、中学校、または高等学校一種免許状を取得した者又は平成 28 年 3 月までに取得見込の者
- (3) 奈良県内の教員を強く志望し、学長等から適性があると推薦された者
- (4) 合格した場合は入学を確約できる者

※学外特別選抜の被推薦者と同一の者が、連携大学特別選抜に併願することはできません。

4. 出願手続

(1) 出願書類

書類等の名称		提出該当者	摘 要
①	入 学 願 書	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。
②	受 験 票 ・ 写 真 票	全 員	所定の用紙に必要事項を記入してください。受験票の裏面には、 332円分の郵便切手 を貼付の上、 <u>郵便番号・住所・氏名</u> を記入してください。写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真を貼付してください。
③	検 定 料 (3 0 , 0 0 0 円)	全 員	郵便局・ゆうちょ銀行で納付し、「振替払込受付証明書」を検定料納付確認票に貼り付けてください。納付手数料は、入学志願者の負担とします。
④	卒 業 (見 込) 証 明 書	全 員	所属大学長又は学部長が作成したものを提出してください。
⑤	成 績 証 明 書	全 員	所属大学長又は学部長が作成したものを提出してください。
⑥	教育職員免許状(写) 又 は 取 得 見 込 証 明 書	全 員	免許状の写、授与証明書又は取得見込証明書を提出してください。
⑦	宛 名 票	全 員	合格通知書及び入学手続書類を受け取る郵便番号・住所・氏名を記入してください。
⑧	推 薦 書	④学外特別選抜 (推薦入試)に出 願 する 者	所定の用紙により、出身大学長(学部長)が作成し、 厳封した ものを提出してください。
⑨	志 望 理 由 書	④学外特別選抜 (推薦入試)に出 願 する 者	所定の用紙に本人が記入し、署名捺印してください。
⑩	住 民 票 の 写 し 等	日本国に居住 している外国人 (永住許可者は対象外)	市区町村長が交付する、在留資格、在留期間、在留期間の満了の日を証明する書類を提出してください。

(2) 出願方法

志願者は出願書類等を取りそろえ、下記の出願期間中に出願してください。郵送による場合は、この要項に添付した出願用封筒を用い『書留速達便』により送付してください。

① 出願期間

[11月募集]

平成27年10月23日(金)から10月29日(木)まで

各日とも午前9時から午後5時までとします。(正午～午後1時を除く)

(郵送の場合は、10月29日(木)の消印までを有効とします。)

② 出願書類の提出先

奈良教育大学入試課(〒630-8528 奈良市高畑町)

(3) 出願にあたっての注意事項

- ① 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に受信地及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載が発見された場合は、入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き返還しません。

ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。

5. 受験票の送付

- (1) 受験票は、受付完了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が平成27年11月6日(金)までに到着しない場合は、入試課へ問い合わせてください。

- (2) 受験及び入学手続の際に、受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

6. 選抜方法

入学者の選抜は、提出書類の審査と学力検査〔筆記試験(小論文)、口述試験〕の結果を総合して行います。

各選抜の試験科目及び試験時間は次のとおりです。なお、当日は試験についての留意事項を説明しますので、各選抜とも必ず8時40分までに集合してください。集合場所は、当日講義2号棟に掲示します。

(1) 学力検査日

[11月募集] 平成27年11月14日(土) 【学外特別選抜志願者】

(2) 学力検査場

奈良教育大学(奈良市高畑町)

たかばたけちょう

近鉄奈良駅・JR奈良駅から市内循環バス乗車『高畑町(奈良教育大学)』下車(裏表紙参照)

(3) 学力検査時間割

学外特別選抜(推薦入試) [11月募集 11月14日(土)]

試験は、次により筆記試験(小論文)及び口述試験を行います。

専攻	時間	試験科目
教職開発	9:00～	口述試験
	11:30～13:00	筆記試験(小論文)

(4) 学力検査の概要

- ・口述試験…当日与えられたテーマについてのグループ討論(活動を含む)及びコース・研究計画についての個人面接。
- ・筆記試験(小論文)…当日与えられた課題等についての論述。

7. その他の留意事項

- (1) 出願手続後は、受験科目等の変更は認めません。
- (2) 試験当日は自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。
- (3) 試験当日は、「奈良教育大学大学院教育学研究科(専門職学位課程)受験票」を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合、又は紛失した場合は、ただちに試験場本部へ申し出てください。
- (4) 試験室に入室するまでに、必ず携帯電話等のアラーム設定を解除した上で、電源を切ってください。
- (5) 口述試験開始時刻に遅刻した者は受験することができませんので、あらかじめ経路、所要時間を確認し、十分な時間の余裕をもって試験場に到着してください。
- (6) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。
- (7) 連絡事項がある場合は、大学のホームページに掲載します。
- (8) 募集要項に関して不明な点がある場合は、入試課へ問い合わせてください。

8. 合格者の発表

[11月募集] 平成27年11月26日(木) 午前10時

合格者は、本部管理棟東側の入学試験掲示板に受験番号を掲示して発表すると同時に合格通知書を本人に郵送します。

また、合格発表日に本学のホームページ (<http://www.nara-edu.ac.jp/>) 上で合格者受験番号を速報する予定です。この合格速報は情報提供サービスの一環としてホームページ上に掲載するものであり、改ざんされる恐れもありますので、**必ず学内掲示板または合格通知で確認してください。**

なお、電話などによる照会には応じません。

9. 入学手続

合格者には、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

入学手続日

[11月募集] 平成27年12月14日(月) 午前10時から午後4時まで

10. 入学料及び授業料

入学料 282,000円(予定)

授業料 前期分 267,900円(年額535,800円)(予定)

(注)ア. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

イ. 前期分の授業料については、平成28年4月1日から平成28年4月30日までの間に納入してください。

ウ. 上記の入学料及び授業料は、平成27年度入学者の金額であり、平成28年度入学者については、変更する場合があります。

エ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

11. 小学校教員免許取得プログラムについて(長期在学コース)

教員免許状を所有していない入学者及び小学校以外の校種の教員免許状を有し在学中に小学校教諭一種免許状を取得しようとする入学者を対象としたもので、当該免許状を取得させるとともに、教職に関する高度な専門知識を習得させることにより、教育実践力を持った小学校教員の養成を行うものです。本プログラムにより、小学校教諭一種免許状とともに修了時には専修免許状の取得も可能です。

なお、入学願書にはプログラムへの申請予定の有無を必ず記載した上で、入学後に別途申請書を提出する必要がありますので、履修を計画されている場合は、あらかじめ詳細等について教務課大学院担当に確認のうえ、出願してください。

〈コースの概要〉各コースの対象者、履修方法等の概要は次のとおりです。

(1) 3年コース（修業年限3年）

対象者	履修方法	修了要件単位
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校以外の校種の教員免許状を所有している入学者で、小学校教諭一種免許状を取得しようとする者 ・ いずれかの校種の教員免許状（二種）を所有している入学者で、小学校教諭一種免許状を取得しようとする者 ・ 教員免許状を所有していない入学者のうち、入学前に小学校教諭免許状取得に必要な授業科目の単位をある程度修得済みで、入学当初の1年間に所要の単位を修得することにより小学校教諭一種免許状を取得可能な者 	1年次に小学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目を履修した後、2年次、3年次において、通常の教職開発専攻（教職大学院）の教育課程の履修を行うこととなります。	45単位以上及び小学校教員免許の資格取得に必要な単位

(2) 4年コース（修業年限4年）

対象者	履修方法	修了要件単位
・ 教員免許状を所有していない者（3年コース該当者を除く）	1年次、2年次に小学校教諭一種免許状取得に必要な授業科目を履修した後、3年次、4年次において、通常の教職開発専攻（教職大学院）の教育課程の履修を行うこととなります。	45単位以上及び小学校教員免許の資格取得に必要な単位

※両コースとも、小学校教諭一種免許状取得の所要資格を満たした上で、教職開発専攻の教育課程の履修を行うこととなります。

※3年コースを希望した場合でも、単位の取得状況等により4年コースとなる場合があります。

（参考例）小学校教諭一種免許状取得に必要な単位数

	免許状なし	幼稚園一種免有	中学校一種免有	高等学校一種免有
小学校教諭一種免許	67	44	44	44

〈授業料〉

修業年限に応じた授業料を納付することとなります。

（参考例）3年コースの場合、年額535,800円×3年 = 1,607,400円

〈申請方法及び申請時期〉

入学願書の「小学校教員免許取得プログラムへの申請予定」欄に申請予定の有無を必ず記載のうえ、入学後ただちに申請書を提出することとなります。免許状の取得状況等により、修業年限の取扱いが異なりますので、願書の記載内容に変更が生じる場合は、直ちに教務課大学院担当まで連絡してください。

12. 特別支援学校教員免許取得プログラムについて（長期在学コース）

小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有している者のうち特別支援学校教諭一種免許状を取得しようとする入学者を対象として、3年コース「特別支援学校教員免許取得プログラム」を開設しています。この3年コースでは、1年次に特別支援学校教員免許取得に必要な授業科目を修得した後、2年次、3年次において、通常の教職大学院の教育課程を履修します。なお、修学期間に応じた授業料が必要です。

13. 長期履修学生制度について

この制度は、教職開発専攻の入学者のうち、疾病等の理由により毎日の通学が困難な者に対して、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修することを認めるもので、その間の授業料の年額の負担を軽減することができるものです。

〈修業年限〉 修業年限は3年又は4年とします。

〈申請方法及び申請時期〉

入学願書の「長期履修学生制度への申請予定」欄に申請予定の有無を記載のうえ、入学後ただちに、担当教員と履修計画を立案したうえ、申請書を提出することとなります。

〈授業料〉

長期履修学生の授業料の年額は、2年間分の授業料を修業年限の年数で除した額となります。

（参考例）修業年限が3年で長期履修を許可された者の授業料の年額

$$535,800円 \times 2年 \div 3年 = 357,200円 \text{（年額）}$$

※ 2年間分の授業料を3年間で分割納入することとなります。

14. 修了要件、履修方法等について

○専門職学位課程の修了要件の概要

教職開発専攻においては、履修規則に基づき45単位以上の単位を修得した上、2年次には学習の成果を学位研究報告書として提出することが必要となります。

なお、1年間に履修できる単位数については制限を設けており、教職開発専攻（専門職学位課程）では、38単位を上限としています。

○教育学研究科修士課程授業科目の履修について

教職開発専攻においては、教育上必要と認められる場合に限り、教育学研究科修士課程において開設されている授業科目を、授業担当教員の許可を得て、在学中に12単位まで履修することが可能です。

○学部授業科目の履修制度

小学校教員免許取得プログラムとは別の制度として、教職開発専攻においては、在学中に12単位まで学部の授業科目を履修できる制度（科目等履修生制度）があります。

ただし、本専攻では実習を伴う科目を履修することにより実践力を培うことを目的とする、大学院正規課程での授業研究が主となりますので、この制度によって学部授業科目の履修を保証するものではありません。また、受講にあたっては、授業担当教員の承諾が必要となります。

15. 担当教員研究分野一覧表（現在、文部科学省に申請中のため変更の可能性があります。）

専攻	専任・特任	氏名	研究テーマ・研究分野
教職開発	専任	○池島 徳大	いじめなどの対立問題に関する学校教育臨床研究
		小柳和喜雄	教育活動及び教育実践研究における情報機器・教育メディアの活用に関する研究
		粕谷 貴志	児童生徒の心理社会的発達と適応との関連および発達を支える心理教育的援助について
		河崎 智恵	キャリア教育のプログラム開発・生活実践力の育成に関する研究
		北川 剛司	教育評価における自然主義的アプローチ
		玉村公二彦	障害児教育の実践的研究、特別支援教育学
		中井 隆司	授業研究に基づく教師の職能成長とアセスメントに関する研究
		根来 秀樹	脳科学からみた発達障害児の評価、障害児医学
		○前田 康二	自律性を培う学習指導と評価
		松川 利広	国語科カリキュラム研究
		宮下 俊也	音楽及び芸術教科を中心とした授業実践研究
		◎山本 吉延	Project-Based Learningによる教員としての職能形成
		吉田 誠	学習意欲を高める教授法の研究
		吉村 雅仁	国際理解教育・言語意識教育
	特任	樋口 幸三	教育実践力につながる学校・家庭・地域との有機的連携
	◎松井 秀史	様々な教育課題とその解決及び説明の在り方についての実践的研究	

上記に加え、特別支援教育に関する専任教員1名を配置予定です。

◎平成28年3月、○平成29年3月退職予定の教員です。

※上表に変更が生じた場合は、本学のホームページ（<http://www.nara-edu.ac.jp/>）で発表しますので、出願前に確認してください。

16. 個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか下記の業務に利用します。なお、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条第2項に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- (1) 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。
- (2) 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生指導に関わる業務に利用します。
- (3) 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- (4) 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- (5) その他法人の定める「個人情報保護関連規則」に従って個人情報を利用します。

※「個人情報保護関連規則」については、奈良教育大学のホームページでご覧いただけます。

URL : <http://www.nara-edu.ac.jp/privacy/>

17. 障害を有する入学志願者との事前相談について

障害を有する入学志願者で、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は、必ず出願までに相談してください。

1. 相談の期間

[11月募集] 平成27年10月5日(月)から平成27年10月7日(水)まで

2. 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類(様式任意)を作成し、医師の診断書を添付して提出してください。

なお、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁しえる出身大学関係者等との面談等を行います。

- (1) 氏名及び出身大学名
- (2) 障害の種類、程度
- (3) 志望予定専攻、専修等
- (4) 受験上の特別な措置を希望する事項
- (5) 修学上の特別な配慮を希望する事項
- (6) 出身大学でとられていた特別措置等の事項
- (7) 日常生活の状況
- (8) 連絡先の住所、電話番号等

3. 提出先 奈良教育大学入試課

18. 過去の入試問題の閲覧について

過去3年間の入学試験問題を入試課窓口で閲覧することが出来ます。

なお、個人への郵送は取り扱っておりませんので、あらかじめご了承ください。

〈閲覧場所〉 入試課窓口

〈時間〉 平日 9:00～17:00

19. 日本学生支援機構大学院奨学生の予約採用について

本学大学院入学後に日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する日本人学生・在日外国人学生（留学生は除く）は、奈良教育大学のホームページにて申請方法を確認してください。

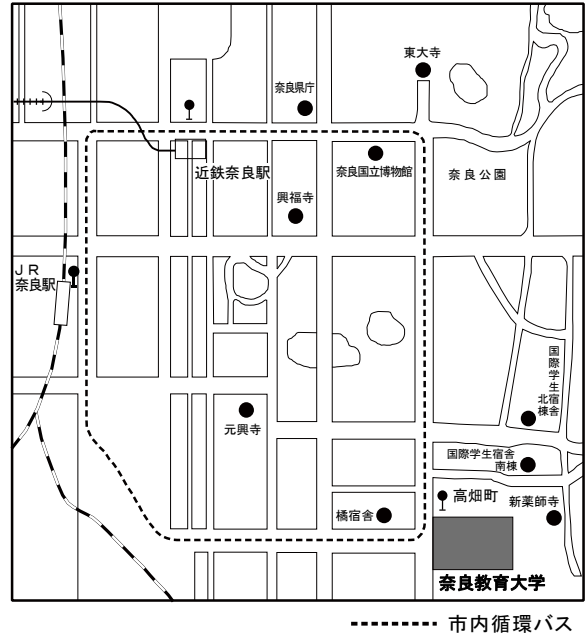
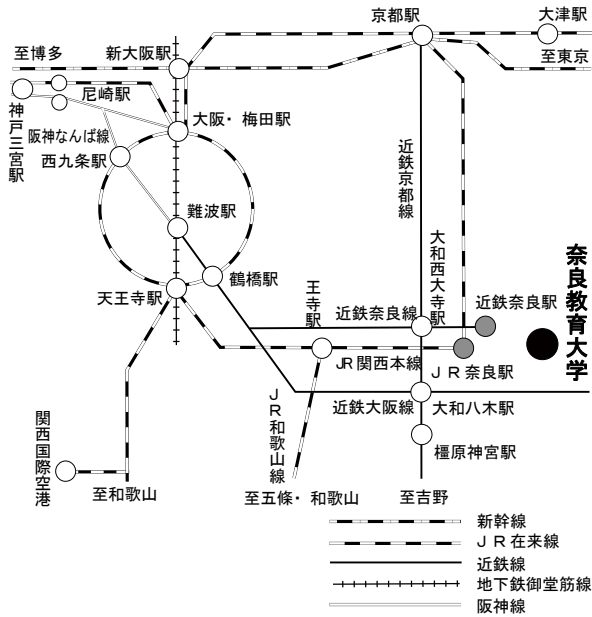
URL : http://www.nara-edu.ac.jp/campus_life/health/scholarship_system.html

「平成28年度日本学生支援機構奨学金予約採用（大学院）について」

【注意】 申請方法は平成27年9月からホームページに掲載します。

申請受付期間は平成27年12月から平成28年1月中旬の予定です。

試験場への順路



京都から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪から

JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪から

JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺から

JR大和路快速で、JR奈良駅まで約30分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町
奈良教育大学 入試課

TEL 0742-27-9126

Fax 0742-27-9145

ホームページ <http://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp